

2022年度

商工業振興に関する要望書



苫小牧商工会議所

The Tomakomai Chamber of Commerce and Industry

平素、苫小牧商工会議所の商工業振興への取組に関し、一方ならぬご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地元企業を取り巻く環境は、少子高齢化による働き手不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による多大な影響を受け、過去に例のない厳しい状況にあります。また、この状況が長期化することも危惧されます。

感染症対策と経済活動のバランスをとりながら、苫小牧の商工業振興が一層発展するために必要な事項を取りまとめましたので、令和4年度（2022年度）予算の編成に当たり、特段のご配慮を賜りますよう要望いたします。

2021年4月22日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧商工会議所

会頭 宮本 知治

目次

要望事項	関係機関			ページ
	国	北海道	苫小牧市	
1 重点要望事項				
(1) コロナ禍での事業継続に向けた支援	○	○	○	1
(2) 「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進			○	2
(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進	○	○		3
(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備	○			4
(5) 北海道のエネルギー拠点としての次世代エネルギー発電施設等の関連事業の誘致による整備促進			○	5
2 新規要望事項				
(1) 安心安全な飲食店の感染防止策の独自認証制度の構築			○	6
(2) 苫小牧市プレミアム付き商品券事業の継続的な実施			○	7
(3) 交通事故防止のための道路整備等の推進	○			8
(4) 自然を活かしたワーケーション施設の環境整備			○	9
3 継続要望事項				
(1) 苫小牧を支える企業への支援策	○	○	○	10
(2) まちづくり・防災対策	○		○	11
(3) インフラの整備（道路・港湾・空港・鉄道・電力など）	○	○	○	12
(4) 雇用・人材育成	○	○	○	14
(5) 交流人口の増加と観光振興		○	○	15
4 参考資料				16
5 部会別索引				21
6 SDGs別索引				25

要望件数

重点要望事項 5 件	新規要望事項 4 件	継続要望事項 69 件	合計 78 件
------------	------------	-------------	---------

回答基準

実現性		実行速度	
A	実現可能、又は実行中	A	本年度中、又は来年度 2年以内
B	実現に向けて検討中	B	3ヵ年計画、又は3年以内に実行
C	検討する	C	長期計画、又は計画中
D	見通し不明、又は不可能	D	実行なし

1-(1) コロナ禍での事業継続に向けた支援

● 要望事項

1 経済的苦境が続く中小・小規模事業者に対する事業継続に向けた支援

- ① 公共料金の減免など、事業継続への支援
- ② 積極的な新規融資を促す施策
- ③ テレワーク導入への支援
- ④ 商工会議所等が実施する経済振興対策や事業活動に対する支援

2 大規模イベントの開催

- ・ 需要喚起と地域活性化のため、感染防止対策を徹底しつつ、市民も待ち望んでいるとまこまい港まつりやスケートまつり等の大規模イベントの開催

● 目的と効果

目的 ・ 長期化する新型コロナウイルス感染症流行により、経済活動の停滞が生じ、業種規模を問わずあらゆる事業者において、需要の減少、業績や資金繰りの急速な悪化など極めて厳しい状況が続いています。特に地域経済や雇用を支える中小・小規模事業者においては、事態の収束が見えない中で将来の展望を抱けず、廃業を検討している事業者も数多くおります。

- ・ 閉塞感を打破し、冷え込んだ消費者心理を喚起するためには、各種支援策を継続することに加え、空気感を一変させる契機としてのイベント開催が切望されます。

効果 ・ 支援策を迅速かつ継続的に行うことにより、企業が外部環境の変化に円滑に対応することができ、事業の継続、雇用の維持が図られます。

- ・ アフターコロナにおいていち早く地域経済の活性化、回復が可能となります。

● SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



1- (2) 「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進

●要望事項

「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進

●目的と効果

- 目的
- ・平成26年の旧サンプラザビル閉鎖から7年ほどが経過しました。その間、苫小牧市は再整備に向け、様々な可能性を探り行動されておりますが、時間の経過とともに市民や経済界においても、閉塞感が広がりつつありました。
 - ・旧サンプラザビルについては、地代請求訴訟の和解が不成立となるなど不透明感が増していますが、訴訟結果によらず、一刻も早い権利集約が待たれます。
 - ・2021年3月に「苫小牧都市再生コンセプトプラン」が公表され、市民からは歓迎の声が寄せられております。このプランに基づいた駅周辺再整備構想の策定が推進されることで、市民の駅前問題への関心はさらに喚起され、「誇りと愛着が持てるまち」への前進が加速します。

- 効果
- ・駅周辺以外の施設計画と連携した再整備構想が策定されることで、相互に人の流れが生まれるなど、相乗効果が見込まれ、拠点としてのまちなか形成が推進されます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



閉鎖から6年余りが経過した旧サンプラザビル



老朽化のため閉鎖された駅前バスターミナル



No.20001 担当部会：商業部会／食品飲食業部会／建設業部会／地域振興委員会

1-(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

● 要望事項

- 1 苫小牧登別通（仮称）の道道昇格と接続整備 (P16 参考資料①)
- 2 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進 (P16 参考資料②)
- 3 道道苫小牧環状線（札幌方面）から国道276号線に左折する車線レーンの増設（市立病院前交差点） (P17 参考資料③)
- 4 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討 (P17 参考資料④)

● 目的と効果

- 目的**
- 1・苫小牧登別通（仮称）は苫小牧市から白老町を経由し登別市まで連絡する構想路線となっており国道36号の代替道路として位置づけられるなど、重要な路線です。
 - ・2011年の東日本大震災による大津波警報発表時には、国道36号線が長時間通行止めとなり、2017年の台風18号では竹浦橋が被災し、約1か月にわたる通行止めとなるなど、影響が広範囲に及びました。
 - ・苫小牧登別通（仮称）の整備によって、国道36号線を補完する広域道路として、幹線道路ネットワークの強化及び災害発生時の代替性が強化され、地域の相互連携機能の強化につながります。
 - 2・2021年に開通した中央インターチェンジは、コロナ禍においてもその高い利便性から交通量が増加しつつあります。また付近の沿道では土地利用規制が見直されるなど、今後更に交通量増加が予想されることから、緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間の高丘地区への4車線拡幅整備により、安全で円滑な交通が確保されます。
 - 3・市立病院前の交差点である、道道苫小牧環状線（札幌方面）から国道276号線に左折する車線レーンの混雑が解消・緩和されることにより、自動車事故や歩行者の安全、周辺住民の安全が確保されます。
 - 4・当市は、東西にかけて鉄路が走り、中野跨線橋から港跨線橋間の約4.2kmには鉄路をまたぐ方法がなく、いずれかの跨線橋に迂回して移動する必要があります。
 - ・現在、海側には多くの製造業や物流関連企業が進出し、多数の従業員を抱え、さらに、臨海北通は交通量も多いことから、災害時における人と車両の鉄北方向への避難路を確保することにより地域の安全性が向上します。

効果 ・円滑な交通、利便性向上及び災害時における安心安全の確保が期待できます。

● SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



1-(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

●要望事項

- 1 東港区機能伸展のためのインフラ整備として
 - ・上下水道設備の充実及び強化 (P18 参考資料⑤)
- 2 周文ふ頭新規岸壁の整備（新規着工） (P18 参考資料⑥)
- 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備 (P18 参考資料⑦)

●目的と効果

- 目的**
- 1 ・東港区を含む安平川から東側のエリアは苫小牧市の給水区域に入っておらず、胆振東部地震の際には、断水復旧までに約1ヶ月の期間を要するなど、復旧を市が主導できない状況となりました。
 - ・東港区のインフラ整備を行うことで、災害時の対応能力強化と物流機能維持が図られます。
 - ・また2020年6月から大型冷蔵冷凍倉庫が稼働し、同倉庫と連携した食関連事業の集積が期待されるなか、企業の進出を後押しし、付加価値の高い物流拠点形成の促進が期待されます。
 - 2、3 ・公共埠頭では混雑が恒常化し、船舶の滞船や不必要な横持ち※が生じるなど、非効率な荷役を強いられており、北海道胆振東部地震においても、災害支援船が利用岸壁の変更・移動を余儀なくされるなど、岸壁の不足が深刻な状況となっております。
 - ・大規模自然災害等に備えた耐震・防災機能強化と荷役作業の効率化により、船舶の混雑・停船の緩和が図られ、物流コストの削減や港湾労働者の労働生産性向上、地域産業の競争力強化につながります。

効果 ・物流の効率化と苫小牧港区の更なる発展が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



※横持ちとは

- ・特定の場所に置かれた貨物を別の場所などに移動すること。
- ・混雑により、荷役事業者が希望するふ頭を利用できないケースが発生しており、離れたふ頭を利用しなければならず、目的地まで陸路での輸送を余儀なくされている。

1-(5) 北海道のエネルギー拠点としての次世代エネルギー発電施設等の関連事業の誘致による整備促進

●要望事項

苫小牧の地域特性を生かした発電・蓄電・供給施設の設置促進、並びにエネルギーの地産地消によるエネルギーコストの低減を目指した取り組みの検討

●目的と効果

- 目的**
- ・苫東厚真発電所は、北海道全体の発電量の50%超を石炭火力によって担ってきましたが、経済産業省が二酸化炭素（CO₂）を多く排出する旧式の石炭火力の発電量を2030年までに大幅に削減する方針を打ち出し、世界的にも石炭火力発電に対する逆風が吹く中、発電施設の老朽化も進行しております。
 - ・一方で、石炭火力を主力とする発電による電力価格の上昇は、道内企業の生産コストの上昇と競争力の低下を招き、企業の利益を確実に圧迫しており、低廉で安定的な電力（緊急時の電力供給を含む）の供給によって、生産活動の維持向上が図られることで、企業の業績改善及び市の税収アップが期待されます。
 - ・また、脱炭素社会の実現に向け、各企業には非常に高いSDGs（CO₂削減）目標が課せられています。目標達成のためにグリーン電力の活用は必須であり、次世代エネルギー発電施設等の整備促進が強く求められています。

- 効果**
- ・次世代エネルギーの集積基地としての市の魅力、認知度向上
 - ・道内外の企業誘致活動におけるPRポイントとしての活用
 - ・再生可能エネルギーの活用によるSDGs目標の達成
 - ・企業誘致による施設設置時の地場産業参入機会の創出
 - ・自然災害等の非常事態に非常用電源として稼働でき、非常時に強いまちとしての魅力向上
 - ・LNG、バイオマス、水素、アンモニア、太陽光、風力など多様で先進的な電源の開発促進

●SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）



2-1) 安心安全な飲食店の感染防止策の独自認証制度の構築

●要望事項

新型コロナウイルス感染防止策を徹底する店舗への独自認証制度の構築

●目的と効果

- 目的**
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、多くの飲食店で客が激減しています。多くの飲食店では、手指消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保等の感染防止対策を講じているものの、不安を感じる市民感情を払拭出来ずにいます。苫小牧市として独自のガイドラインを策定し、認証する制度を構築することで、北海道の提唱する「新北海道スタイル」と併せて、一定の対策を実施している店舗を広く市民に周知することが出来ます。
- 効果**
- ・感染防止対策について認証する公的制度があることで、市民が安心してお店を利用出来る環境が整います。
 - ・認証制度により、事業者がより具体的に感染防止対策に取り組む事が出来る為、感染防止と経済活動の両立へ貢献できると考えられます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



2-(2) 苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施

●要望事項

苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施

●目的と効果

目的 ・新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地元における消費の回復及び、拡大、地域経済の活性化を目的として、令和2年度並びに令和3年度実施を頂いております、「苫小牧市プレミアム付商品券事業」については、市民の期待も非常に大きく、事業者にとっても多大な経済効果をもたらしています。

しかしながら、コロナ禍の影響で受けた損失を埋めるまでにはまだ遠く、継続した経済対策が必要であると考えております。

つきましては、消費喚起の即効性の非常に高い「苫小牧市プレミアム付商品券事業」を次年度以降も継続して実施を要望します。

効果 ・コロナ禍で急激に落ち込んでしまった事業者の売上を早めに回復させる事が期待できます。

・コロナ禍で所得が減ってしまった個人の生活支援に寄与します。

・プレミアム付商品券の利用をきっかけに来店した市民に、それぞれの店の魅力を伝える事により、継続的な消費増加につながる事が期待出来ます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



2-(3)交通事故防止のための道路整備等の推進

●要望事項

- 1 苫小牧中央インターチェンジと国道 276 号線の接続地点への信号機設置
(P16 参考資料②)
- 2 国道 36 号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置
(P20 参考資料⑩)

●目的と効果

- 目的 1 道央自動車道本線に接続する国道 276 号線は、交通量が多く交差点は左右の見通しが悪いため、交通事故が懸念されます。重大な事故を未然に防ぐために、感应式信号機の設置を要望します。



接続地点(交差点)



支笏湖方向からの車輛

- 2 2020年3月より、4車線に拡幅した苫小牧錦岡～白老社台間の国道 36 号線は、中央分離帯が未整備で、正面衝突等の重大な交通事故が懸念されるため、中央分離帯の設置を要望します。



分離帯未設置エリア



分離帯設置エリア(苫小牧側)

- 効果 ・重大な交通事故を未然に防ぎ、人命保護と円滑な交通が確保されます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



2-(4)自然を活かしたワーケーション施設の環境整備

●要望事項

自然を活かしたワーケーション施設の環境整備

●目的と効果

- 目的**
- ・樽前地区には、観光施設であるオートリゾートアルテンや公園施設、ウトナイ地区には、道の駅やウトナイ湖野生鳥獣保護センターなどが点在しており、豊かな自然と、自然を楽しむことができる施設があります。
 - ・これらの施設は、既に多くの観光客を迎え、市民からも愛されていますが、首都圏を中心とするワーケーション先を探す人々にとっても、休暇を過ごしつつ、仕事ができる絶好のスポットです。
 - ・ワーケーションスポットとして提案するためには、通信回線の整備、自由に利用できる電源、一定時間滞在できるスペースや利用ルールの整備などが必要です。
- 効果**
- ・施設の環境整備が行われることで、苫小牧におけるワーケーションスポットとして具体的に提案することができます。
 - ・ワーケーション利用者の他にも、観光客や市民の利便性が向上することで、利用者も増加し、交流人口が増加します。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



苫小牧アルテン



道の駅 ウトナイ湖



No.22005 担当部会：サービス業部会／会議所

3-(1) 苫小牧を支える企業への支援策

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20033	公共事業予算枠確保	建設業部会	A	A
20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	建設業部会	A	A
20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	建設業部会	A	A
20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	建設業部会	A	A
20038	指定管理者に対する地場活用の推進	製造業部会	A	A
20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	会議所	B	A
20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	会議所	A	B
20052	店舗改装費補助金の拡充	商業部会	A	A
20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	建設業部会	A	A
21010	市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「ビジネスサポートセンター(仮称)」の設置	青年部	B	C

●目的と効果

苫小牧地域を支える企業への各種支援策により、持続的に発展できる環境の維持、整備が可能となり、急激な外部環境の変化に対応するための素地が維持されます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(2) まちづくり・防災対策

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20003	旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現	地域振興委員会/ 食品飲食業部会	C	C
20004	旧サンプラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した 早期解体	地域振興委員会/ 食品飲食業部会	C	C
20014	公的津波避難施設設置の推進	建設業部会	A	A
20027	多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	食品飲食業部会	A	A
20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する 生活圏形成の推進	商業部会	A	A
20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進	商業部会	A	B
20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ②街路灯LED化の推進	商業部会	A	B
20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ③無電柱化	商業部会	A	B
20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	商業部会	A	A
20054	空家等解体補助金の拡充	商業部会	C	C
20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の 整備活用	地域振興委員会	B	B
20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	商業部会	B	B
21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	会議所/ 製造業部会	B	C
21011	定住者増加のための家族を伴った移住の促進	食品飲食業部会	D	D
21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオ フィス誘致と移住の促進	食品飲食業部会	C	C
21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした 移住者の獲得	食品飲食業部会	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)
21014	市内に進出及び移転企業に対する優遇措置の 対象業種拡大	サービス業部会	A	A
21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	食品飲食業部会	A	A
21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	食品飲食業部会	D	D

●目的と効果

生活基盤を支える商店街やコミュニティの維持・存続に関する支援体制の拡充、強化により、持続可能で、災害に強く、東西バランスを考慮したまちづくりの推進が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(3) インフラの整備（道路・港湾・空港・鉄道・電力など）

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	運輸交通部会	B	C
20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	運輸交通部会	B	C
20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の利活用構想の策定	製造業部会	B	B
20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	運輸交通部会	C	C
20059	美沢錦岡通の早期整備	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20060	臨海東通の早期整備	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	建設業部会/ 運輸交通部会	C	C
20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	運輸交通部会/ サービス業部会	A	B
20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上(CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	地域振興委員会	B	C
20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	地域振興委員会	B	C
20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	地域振興委員会	B	C
20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	地域振興委員会	C	C
20073	新千歳空港民営化後の活性化支援	地域振興委員会	A	C
20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	地域振興委員会	C	C
20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	地域振興委員会	C	C
20087	通行車両の安全確保の為に鹿対策の実施	運輸交通部会	C	C
20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	運輸交通部会	C	C

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	運輸交通部会	C	C
20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	運輸交通部会	C	C
20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	運輸交通部会	C	C
20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れた白鳥王子アイスアリーナの改修	建設業部会	B	C
20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	地域振興委員会	D	C
20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	地域振興委員会/ 建設業部会	B	C
20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	運輸交通部会	C	C
20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快速便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	運輸交通部会	A	C

●目的と効果

市や関係機関への働きかけを強化することにより、インフラ整備が促進されます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



3-(4) 雇用・人材育成

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	運輸交通部会	B	B
20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	食品飲食業部会/ 女性会	D	D
20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	地域振興委員会	A	A
20024	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等 とまジョブの有効活用及び周知推進	建設業部会	A	A
20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の 就業支援	サービス業部会	B	B
20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	食品飲食業部会	C	C
22006	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備	食品飲食業部会	C	C
22007	児童発達支援事業の拡充	青年部	C	C

●目的と効果

生産人口の減少により、深刻な人材不足が喫緊の課題であり、雇用の安定・拡大、地元人材の育成・確保、地元人材育成に必要な施設の維持などが強く求められることから、各種施策の推進により、多様な人材確保と育成ができる環境整備が可能となります。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(5) 交流人口の増加と観光振興

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	会議所	D	C
20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	会議所	D	C
20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡充と更新及びイベント開催の検討	サービス業部会	C	C
20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生 象徴空間「ウポロイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	サービス業部会	B	B
20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	食品飲食業部会	A	A

●目的と効果

自然・食・文化・産業などの地域資源を活かし、各種施設の有効活用、新たな観光ルートの発掘と発信、統合型リゾート誘致などの取組により、誘客促進と交流人口増加が期待できます。

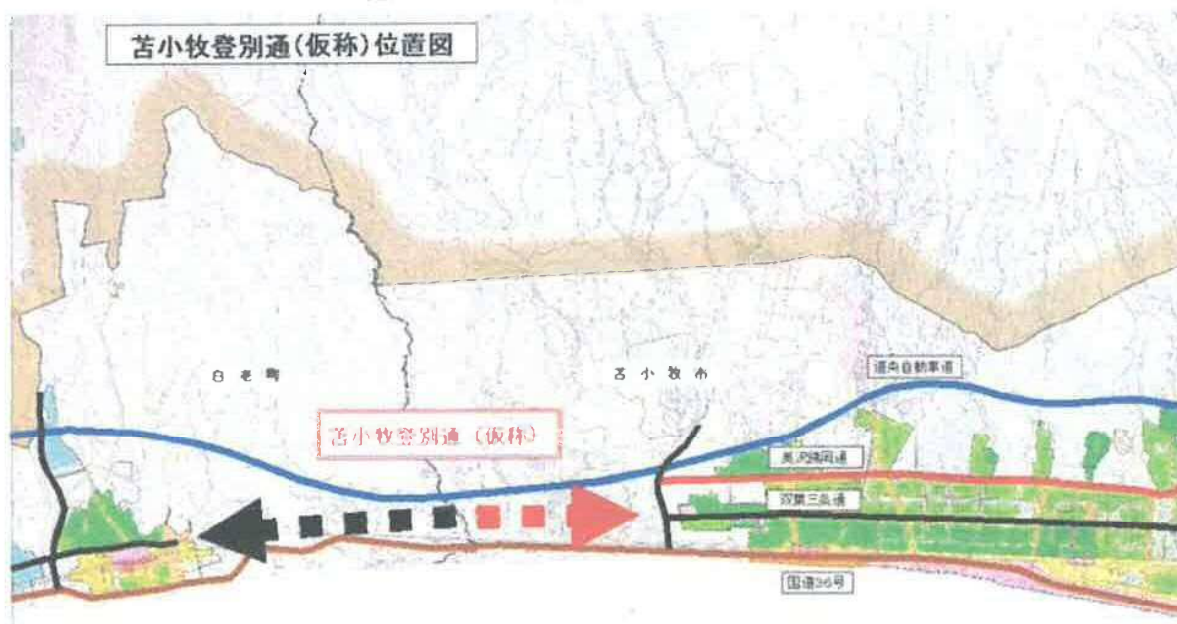
●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



4 参考資料

P3 参考資料① 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

1 苫小牧登別通(仮称)道道昇格と接続整備



P3 参考資料②

1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

2 高丘地区への4車線拡幅整備

P8 参考資料②

2 新規要望事項(3) 交通事故発生防止のための道路整備等の推進

1 苫小牧中央インターチェンジと国道276号線の接続地点への信号機設置



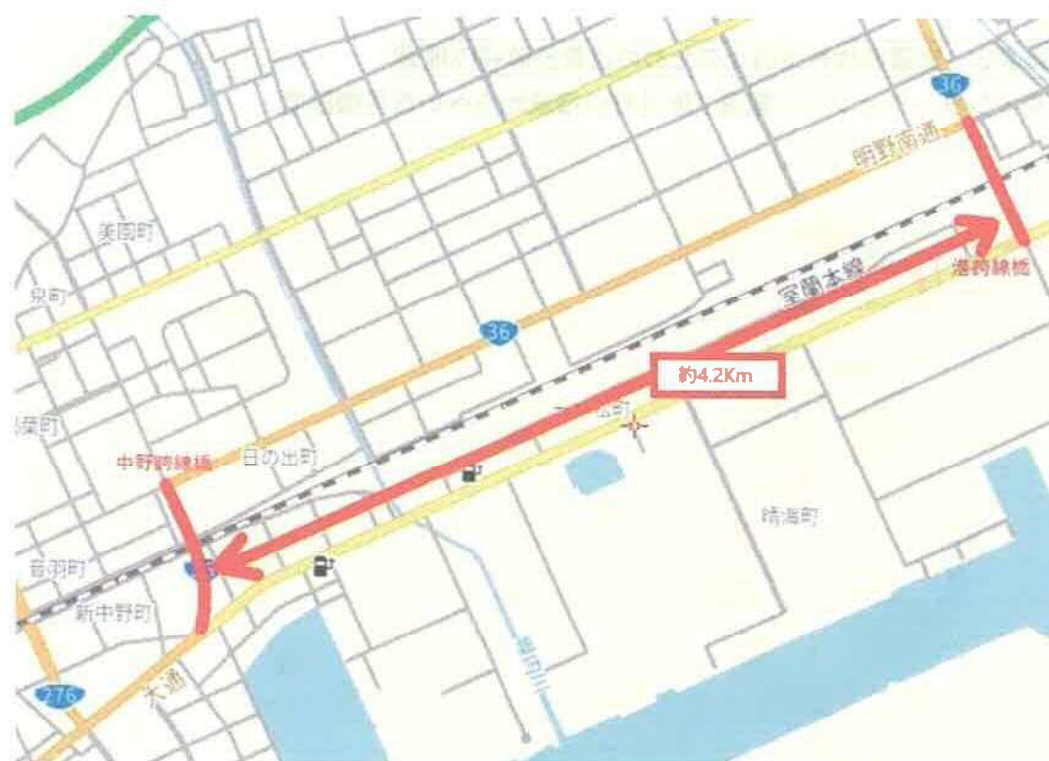
P3 参考資料③ 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

3 道道苫小牧環状線左折レーン増設



P3 参考資料④ 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

4 臨海北通接続道路新設



P4 参考資料⑤ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

1 上下水道設備の充実及び強化 (苫小牧市新水道ビジョン：給水地図)



P4 参考資料⑥ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

2 周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工)



P4 参考資料⑦ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備



P12 参考資料⑧ 3 継続要望事項(3) インフラ整備(道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

2021-033 美沢錦岡通の早期整備

2021-034 臨海東通の早期整備



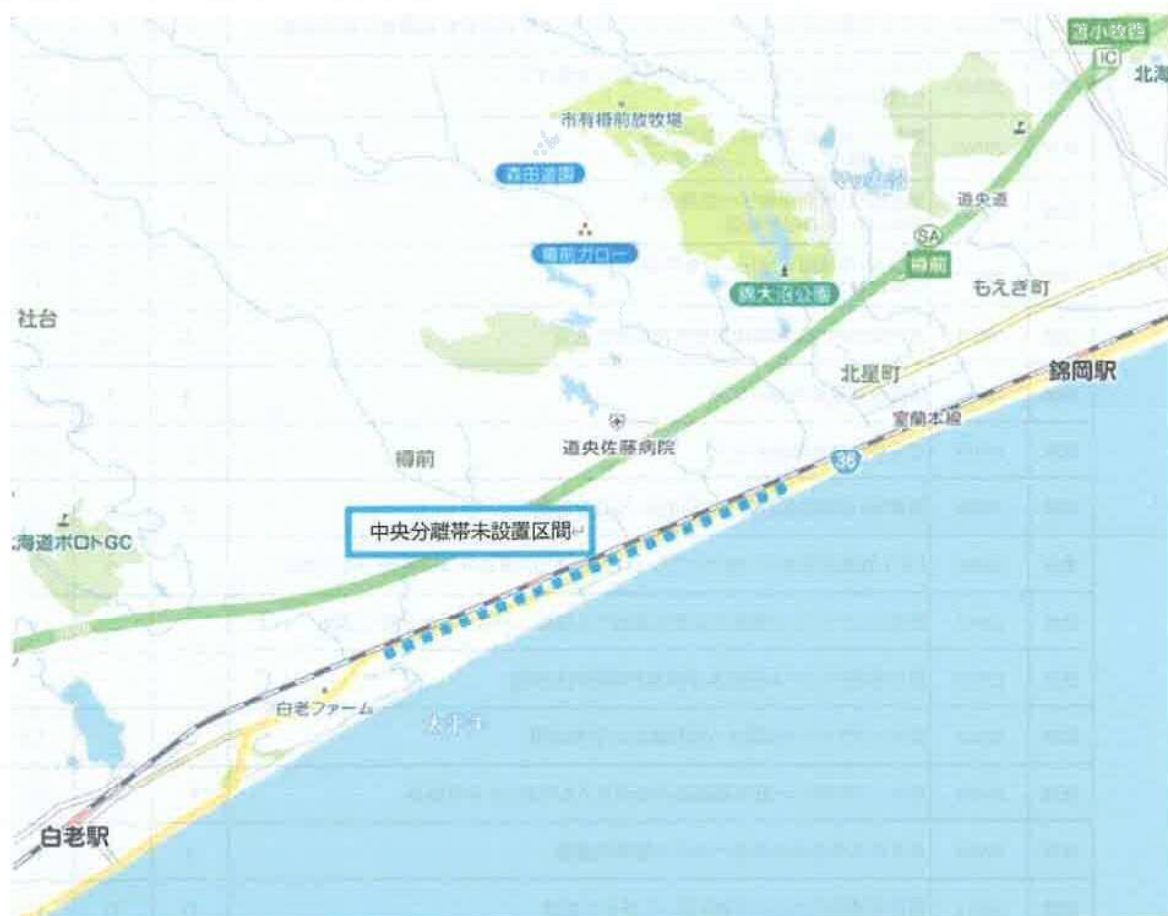
P13 参考資料⑨ 3 継続要望事項(3) インフラ整備(道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

2021-052 市道東部南通線の路肩を含めた道路整備

2021-053 勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化



22004 国道 36 号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置



5 部会別索引

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
商業部会	重点	20001	「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進	C	C	2
	継続	20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する生活圏形成の推進	A	A	11
	継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進	A	B	11
	継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ②街路灯LED化の推進	A	B	11
	継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ③無電柱化	A	B	11
	継続	20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	A	A	11
	継続	20052	店舗改装費補助金の拡充	A	A	10
	継続	20054	空家等解体補助金の拡充	C	C	11
	継続	20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	B	B	11
食品飲食 業部会	重点	20001	「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進	C	C	2
	新規	22001	新型コロナウイルス感染防止策を徹底する店舗への独自認証制度の構築			6
	新規	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施			7
	継続	20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
	継続	20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
	継続	20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A	11
	継続	21011	定住者増加のための家族を伴った移住の促進	D	D	11
	継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス誘致と移住の促進	C	C	11
	継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)	11
	継続	21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	A	A	11
	継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	D	D	11
	継続	22006	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備	C	C	14
	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	D	D	14
	継続	20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	C	C	14
	継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	15
製造業 部会	重点	21017	苫小牧の地域特性を生かした発電・蓄電・供給施設の設置促進、並びに エネルギーの地産地消によるエネルギーコストの低減を目指した取り組みの検討	C	C	5
	継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	10
	継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
	継続	20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の 利活用構想の策定	B	B	12

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
運輸交通 部会	重点	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	3
	重点	20064	緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進	B	C	3
	重点	20064	道道苫小牧環状線(札幌方面)から国道276号線に左折する車線レーンの増設(市立病院前交差点)	B	B	3
	重点	20086	東港区機能進展のためのインフラ整備 ・上下水道設備の充実及び強化	D	D	4
	重点	20092	西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	C	C	4
	重点	20115	災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討	D	C	3
	重点	21008	周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工)	C	C	4
	新規	22003	苫小牧中央インターチェンジと国道276号線の接続地点への信号機設置			8
	新規	22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置			8
	継続	20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	14
	継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	12
	継続	20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	B	C	12
	継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	C	C	12
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	12
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	12
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	13
	継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	12
	継続	20087	通行車両の安全確保のための鹿対策の実施	C	C	12
	継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	C	C	12
	継続	20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	C	C	13
	継続	20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	13
	継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	B	C	13
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	B	C	13
	継続	20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	C	C	13
	継続	20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快速便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	A	C	13
サービス業 部会	新規	22005	自然を活かしたワーケーション施設の環境整備			9
	継続	21014	市内に進出及び移転企業に対する優遇措置の対象業種拡大	A	A	11
	継続	20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	B	B	14
	継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	12
	継続	20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡充と更新及びイベント開催の検討	C	C	15
	継続	20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生象徴空間「ウボロイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	B	B	15

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
建設業 部会	重点	20001	「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進	C	C	2
	重点	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	3
	継続	20033	公共事業予算枠確保	A	A	10
	継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	10
	継続	20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	A	A	10
	継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	10
	継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	10
	継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	A	A	11
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	12
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	12
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	12
	継続	20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れた 白鳥王子アイスアリーナの改修	B	C	13
	継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	B	C	13
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	B	C	13
	継続	20024	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブの有効活用及び 周知推進	A	A	14
地域振興 委員会	重点	20001	「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進	C	C	2
	継続	20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
	継続	20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
	継続	20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の 整備活用	B	B	11
	継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上 (CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	B	C	12
	継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	12
	継続	20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	B	C	12
	継続	20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	C	C	12
	継続	20073	新千歳空港民営化後の活性化支援	A	C	12
	継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・ プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	C	C	12
	継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	C	C	12
	継続	20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	D	C	13
	継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	13
	継続	20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	A	A	14

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
女性会	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	D	D	14
青年部	継続	21010	市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「ビジネスサポートセンター(仮称)」の設置	B	C	10
	継続	22007	児童発達支援事業の拡充	C	C	14
会議所	新規	22005	自然を活かしたワーケーション施設の環境整備			9
	重点	21001	公共料金の減免など、事業継続への支援	C	C	1
	重点	21002	積極的な新規融資を促す施策	A	A	1
	重点	21003	テレワーク導入への支援	A	A	1
	重点	21005	商工会議所等が実施する経済振興対策や事業活動に対する支援	A	A	1
	重点	21006	大規模イベントの開催	B	A	1
	継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	B	A	10
	継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	A	B	10
	継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
	継続	20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	D	C	15
	継続	20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	D	C	15

●SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標) 別索引

SDGsとは

- ・ SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
- ・ 2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」の中で掲げられました。
- ・ 2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



目標1 【貧困】

あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



目標2 【飢餓】

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標3 【保健】

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



目標4 【教育】

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A	11
継続	20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	C	C	14
継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	D	D	14

		目標5 [ジェンダー] ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う			
分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	D	D	14
		目標6 [水・衛生] すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する			
		目標7 [エネルギー] すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する			
分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
重点	21017	苫小牧の地域特性を生かした発電・蓄電・供給施設の設置促進、並びにエネルギーの地産地消によるエネルギーコストの低減を目指した取り組みの検討	C	C	5
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の利活用構想の策定	B	B	12
		目標8 [経済成長と雇用] 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する			
分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
重点	21001	公共料金の減免など、事業継続への支援	C	C	1
重点	21002	積極的な新規融資を促す施策	A	A	1
重点	21003	テレワーク導入への支援	A	A	1
重点	21005	商工会議所等が実施する経済振興対策や事業活動に対する支援	A	A	1
重点	21017	苫小牧の地域特性を生かした発電・蓄電・供給施設の設置促進、並びにエネルギーの地産地消によるエネルギーコストの低減を目指した取り組みの検討	C	C	5
新規	22005	自然を活かしたワーケーション施設の環境整備			9
継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	10
継続	20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	A	A	10
継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	10
継続	21010	市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「ビジネスサポートセンター(仮称)」の設置	B	C	10
継続	21014	市内に進出及び移転企業に対する優遇措置の対象業種拡大	A	A	11

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	A	A	11
継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	D	D	11
継続	20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A	11
継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
継続	21011	定住者増加のための家族を伴った移住の促進	D	D	11
継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス誘致と移住の促進	C	C	11
継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)	11
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の 利活用構想の策定	B	B	12
継続	20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	C	C	14
継続	20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	B	B	14
継続	20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	14
継続	20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	A	A	14
継続	20024	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブの有効活用 及び周知推進	A	A	14
継続	20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	D	C	15
継続	20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	D	C	15
 目標9 「インフラ、産業化、イノベーション」 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び イノベーションの推進を図る					
分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
重点	21001	公共料金の減免など、事業継続への支援	C	C	1
重点	21002	積極的な新規融資を促す施策	A	A	1
重点	21003	テレワーク導入への支援	A	A	1
重点	21005	商工会議所等が実施する経済振興対策や事業活動に対する支援	A	A	1
重点	20086	東港区機能進展のためのインフラ整備 ～上下水道設備の充実及び強化	D	D	4
重点	21008	周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工)	C	C	4
重点	20092	西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	C	C	4
新規	22001	新型コロナウイルス感染防止策を徹底する店舗への独自認証制度の構築			6
新規	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施			7

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	21010	市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「ビジネスサポートセンター(仮称)」の設置	B	C	10
継続	21014	市内に進出及び移転企業に対する優遇措置の対象業種拡大	A	A	11
継続	21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	A	A	11
継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	D	D	11
継続	20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A	11
継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
継続	21011	定住者増加のための家族を伴った移住の促進	D	D	11
継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス誘致と移住の促進	C	C	11
継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)	11
継続	20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	B	C	12
継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策 (ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	12
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の利活用 構想の策定	B	B	12
継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産 業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連 産業)	C	C	12
継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	13
継続	20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	C	C	14



目標10 【不平等】

国内及び各国家間の不平等を是正する

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	A	A	11
継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	D	D	11
継続	20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A	11
継続	20027	特定技能制度における業種拡充への要望支援	C	C	14
継続	22006	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備	C	C	14
継続	22007	児童発達支援事業の拡充	C	C	14



目標11 【持続可能な都市】

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
重点	21006	大規模イベントの開催	B	A	1

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
重点	20001	「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づいた駅周辺再整備構想の策定推進	C	C	2
重点	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	3
重点	20064	緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進	B	C	3
重点	20064	道道苫小牧環状線(札幌方面)から国道276号線に左折する車線レーンの増設(市立病院前交差点)	B	B	3
重点	20115	災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討	D	C	3
重点	20086	東港区機能進展のためのインフラ整備 ～上下水道設備の充実及び強化	D	D	4
重点	21008	周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工)	C	C	4
重点	20092	西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	C	C	4
新規	22001	新型コロナウイルス感染防止策を徹底する店舗への独自認証制度の構築			6
新規	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施			7
新規	22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置			8
新規	22003	苫小牧中央インターチェンジと国道276号線の接続地点への信号機設置			8
新規	22005	自然を活かしたワーケーション施設の環境整備			9
継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	10
継続	20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	A	A	10
継続	20033	公共事業予算確保	A	A	10
継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	10
継続	20052	店舗改装費補助金の拡充	A	A	10
継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	A	B	10
継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	B	A	10
継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	10
継続	21010	市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「ビジネスサポートセンター(仮称)」の設置	B	C	10
継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	10
継続	21014	市内に進出及び移転企業に対する優遇措置の対象業種拡大	A	A	11
継続	21015	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～行政のデジタル技術活用促進	A	A	11
継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 ～市民の情報格差解消への取組推進	D	D	11
継続	20054	空家等解体補助金の拡充	C	C	11
継続	20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	A	A	11
継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進	A	B	11
継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ②街路灯LED化の推進	A	B	11
継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ③無電柱化	A	B	11
継続	20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	B	B	11

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
継続	20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	A	A	11
継続	20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する生活圏形成の推進	A	A	11
継続	20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の整備活用	B	B	11
継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
継続	21011	定住者増加のための家族を伴った移住の促進	D	D	11
継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス誘致と移住の促進	C	C	11
継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)	11
継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	12
継続	20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	B	C	12
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術の利活用構想の策定	B	B	12
継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	C	C	12
継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	12
継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上(CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	B	C	12
継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	12
継続	20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	B	C	12
継続	20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	C	C	12
継続	20073	新千歳空港民営化後の活性化支援	A	C	12
継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連)	C	C	12
継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	C	C	12
継続	20087	通行車両の安全確保の為に鹿対策の実施	C	C	12
継続	20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	C	C	13
継続	20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	13
継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	13
継続	20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れた白鳥王子アイスアリーナの改修	B	C	13
継続	20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	D	C	13
継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	13
継続	20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	C	C	13
継続	20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快速便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	A	C	13

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	12
継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	12
継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	12
継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	C	C	12
継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	B	C	13
継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	B	C	13
継続	20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	D	C	15
継続	20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	D	C	15
継続	20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡充と更新及びイベント開催の検討	C	C	15
継続	20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルデン)と民族共生象徴空間「ウポポイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	B	B	15



目標12 【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する

分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	ページ
継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	C	C	12
継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	15



目標13 【気候変動】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標14 【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標15 【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標16 【平和】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



目標17 【実施手段】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



苫小牧商工会議所

The Tomakomai Chamber of Commerce and Industry